

中山間地域等直接支払交付金事業	事業主体 市町村	所管課班 農村振興課 農村交流対策班
-----------------	----------	--------------------

趣 旨

耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が懸念されている中山間地域において、農業生産の維持を図りつつ、多面的機能を確保するという観点から、農業生産活動等を行う農業者に対して交付金を交付する。中山間地域等における多面的機能の維持・増進を一層図るため、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組等を推進する。

対象要件

1. 対象地域

- ① 特定農山村法，山村振興法，過疎法，離島振興法の4法指定地域
- ② 知事特認地域
 - (1) 4法指定地域に接する農用地を有する地域
 - (2) 農林統計上の中山間地域
 - (3) 農林地率・人口減少率等が4法指定地域と同等の地域

2. 対象農用地

農振農用地区域内であり、1ha以上の団地又は協働取組活動が行われる複数の団地の合計面積が1ha以上の農用地で、次の①～③のいずれかに該当するもの。

- ① 急傾斜農地（田：1/20以上，畑：15度以上，草地・採草放牧地：15度以上）
- ② 自然条件により小区画・不整形な水田（大多数が30a未満で平均20a以下）
- ③ 市町村長の判断により対象となる農地で、次の(1)(2)いずれかに該当するもの。
 - (1) 急傾斜農地と連担した緩傾斜農地（田：1/20～1/100，畑・草地・採草放牧地：8～15度）
 - (2) 高齢化率・耕作放棄率の高い農地

高齢化率：40%（農業従事者に対する65歳以上の農業従事者割合）

耕作放棄率：田8%以上，畑15%以上（経営耕地面積と耕作放棄面積の合計面積に対する耕作放棄地面積の割合）

3. 対象行為

「集落協定」及び「個別協定」に基づき、集落の将来像を明確化した活動計画の下での、5年間以上継続して農業生産活動や多面的機能増進活動等を行うこと。

4. 対象者

協定に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等を対象とする。

5. 事業主体：対象地域を有する市町村

6. 事業実施期間：平成22年度～平成26年度

負担割合	区 分	国	県	市町村	備 考
	中山間地域等直接支払交付金事業 (4法指定地域)	1/2	1/4	1/4	
	〃 (知事特認地域)	1/3	1/3	1/3	